

はじめに

掛川市は昨年、市制施行20周年を迎え、市民のみなさまとこれまでの歩みを振り返り、次の10年に向けて新たな一歩を踏み出しました。一方で、人口減少や高齢化、地域の担い手不足、伝統・文化・産業の継承といった大きな課題にも直面しています。時代の変化が加速する中、掛川市は大きな転換点に立っています。

こうした状況を未来への可能性に変えるため、「第3次掛川市総合計画」を策定しました。この計画は市民ワークショップで生まれたアイデアや想いをもとに未来に向けた理想像を将来ビジョンとしてまとめ、このビジョン実現に向け、DEI（多様性、公平性、受容・包摂）、DX（デジタル技術活用）、共創の3つを基本理念としています。

令和8年度は、第3次総合計画がスタートする重要な年度であり、「共創元年」と位置付け、従来の考え方にとらわれず、自らが主体的に行動するという市民性や報徳の精神、生涯学習で培った力を生かし、市民のみなさまとともに持続可能で進化し続けるまちづくりを進めてまいります。

【重点施策】経営戦略の5つの方針

第3次総合計画スタート！ 「共創元年」に取り組む未来を 切り拓く事業展開

新たにまちづくりの基本理念とする、「DEI」「DX」「共創」を体現するリーディング事業を展開してまいります。



令和8年度

施政方針

久保田崇市長は、市議会2月定例会において、令和8年度の施政方針を表明しました。その一部を紹介します。

※全文は市ホームページで公開しています。



DEIの推進では、年齢・性別・国籍・障がいの有無などにかかわらず、違いを認め合い、だれもが自分らしく暮らせる共創のまちをめざし、分身ロボットなどを活用した外出困難者の社会参画推進事業に取り組みます。

DXの推進では、「女性活躍推進事業」や「AIA（バッテリー窓）構築事業」に取り組むほか、「人流データ活用事業」では多様なデータに基づき、施策立案と効果検証を進め、効果的かつ効率的な施策運営を強化してまいります。

さらに、市民・企業・学校・NPOなどと連携した「かけがわ共創シンポジウム開催事業」や「A1オンデマンド交通事業」により、共創によるまちづくりを推進し、世代や文化を超えた関わり合いを通じて、だれもが心ゆたかに暮らせる未来を築きます。

2 投資効果が高い分野への積極的な投資

投資効果が見込まれる空き家活用や、新たな産業用地の創出などに先行投資することで、税収の増加や、テクノロジーの発展による暮らしの革新を誘導します。

海外では、有機茶や有機抹茶の需要が急速に伸びており、深蒸し茶産地としての高い技術を守りつつ、行政・生産者・消費者が一体となって有機栽培を推進してまいります。

また、「南西郷まちづくり推進事業」や「(仮称)サンサンファーム復活事業」により地域の魅力を高め、選ばれるまちへのブランディングとプロモーションの強化を図ります。

3 ゼロ・ウェイスト、 循環型社会への動機付け

焼却や埋め立てに頼らない暮らしと、循環経済の実現に向け、製品プラスチックの集積所回収を本格的に導入します。

新廃棄物処理施設の整備については、設計・施工を行う事業者が決定し、令和8年度は実施設計を進める予定です。令和12年4月の供用開始に向け、事業を着実に進めてまいります。

4 市民の安全・安心、 セーフティネット、教育の充実

だれもが、当事者になり得る前提でお互いに支え合う社会の推進や高まる自然災害への備えを強化してまいります。

「掛川治水プラン」に基づく排水路整備などにより、水害を軽減する治水対策の推進や、広域避難所の生活環境の更なる充実に向け大型冷風機、自動ラップ式トイレの追加導入に取り組みます。

全てのこどもの育ちを応援し、安心して成長できる環境の整備に向け「こどもの貧困対策事業」や「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」の実施、新たな学校施設の整備に向け、原野谷学園、城東学園小中一貫校整備事業を進めてまいります。

その他にも、「健康づくりアプリ」の活用や、介護施設の建設費補助などにより、障がい者やその家族が安心して暮らせる環境づくりを推進してまいります。

将来ビジョン

「だれもが自分らしく暮らし
進化しつづける未来共創都市 かけがわ」の
実現に取り組めます

5 人的資本経営と 財政構造改革の推進

人材を公共価値の最大化を生み出す資本と捉え、人事制度改革と施策の確実な実行を支える強固な財政基盤の確立を目指します。

新たに導入する「タレントマネジメントシステム」では、経営戦略・人事戦略に基づいた人材育成を推進し、変化の激しい環境にも柔軟かつ迅速に対応できる体制を構築します。

また、新たなビジョンの実現に向け、「行政改革審議会」を開催し、財政健全化に向けた改革プランの策定や、「上下水道経営審議会」を発足し、安全安心な上下水道維持のための審議を行います。

おわりに

現在、私たちを取り巻く社会は極めて複雑な状況にあります。

少子・高齢化による人口減少や、厳しい財政状況、カーボンニュートラルや多様な価値観など取り組むべき課題は日々進化しています。

このような時代の中で未来に向かって進んでいくためには、掛川市がこれまで取り組んできた生涯学習運動は大きな力となると確信しています。

市民一人ひとりの力を結集させ、さまざまな課題を乗り越えれば、だれもが自分らしく暮らし進化しつづける未来共創都市を必ず実現できます。

次の10年に向け、ともに力を合わせ、明るい未来を創りあげてまいります。

令和8年度 主な事業

1 第3次総合計画スタート! 「共創元年」に取り組む未来を切り拓く事業展開

- 新外出困難者社会参画推進事業**…………… 185万円
DEI、DX、共創のリーディング事業として、分身ロボットを活用し、外出が難しい方の就労機会を創出します。
- 新女性活躍推進事業**…………… 500万円
- 新AIアバター窓口構築事業** …………… 250万円
オンライン上でお問い合わせができるAIアバターを導入し、窓口業務のDXを促進していきます。
- AIオンデマンド交通事業** ……………5,419万円
桜木地区での実装と運行エリア拡大に向けた検討を進めます。
- 学校体育施設等電子予約システム導入事業**……………
……………2,032万円
- 新横須賀城築城450年記念事業**…………… 450万円



2 投資効果が高い分野への積極的な投資

- 企業誘致・投資促進支援事業**…………… 6億7,302万円
企業誘致と既存企業の事業継続支援により、地域経済の活性化と良質な雇用の創出を図ります。
- 新（仮称）サンサンファーム復活事業**… 6,728万円
多彩な機能を有する拠点への転換を図り、地域内外から目的地とされる交流拠点を目指します。
- 掛川茶高付加価値化促進事業**…………… 6,450万円
掛川茶の販路拡大、競争力強化、掛川茶の魅力向上を図ります。
- 空き家活用事業、空き家対策事業**…………… 4,897万円
空き家を活用し、若者支援と移住定住につなげるとともに、老朽化した空き家の解体の促進にも取り組んでいきます。



3 ゼロ・ウェイスト、循環型社会への動機付け

- 製品プラスチック・リサイクル事業…………… 544万円
温室効果ガスの削減と資源循環を目指し、製品プラスチックの集積所回収を10月から実装します。
- ごみ発生抑制再資源化事業…………… 480万円
- 新エネルギー等普及促進事業…………… 7,445万円
- 新森林・林業振興事業（木質化モデル事業）650万円
- 掛川市・菊川市衛生施設組合負担金 14億4,760万円
新廃棄物処理施設の建設事業に着手していきます。



4 市民の安全・安心、セーフティネット、教育の充実

- 海岸防災林整備事業…………… 4億6,273万円
津波対策として、今年度で市施工分100%完成を目指して、防潮堤整備を進めます。
- 新こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）…
…………… 504万円
保護者の就労要件を問わず保育施設を利用できるようにし、こどもの育ちを応援します。
- 部活動地域展開推進事業…………… 1億 74万円
- 大坂地区まちづくり事業…………… 1億6,250万円
大坂コミュニティ公園の再整備を進め、防災性の向上、にぎわいの創出・安心安全性の高い、魅力あるまちづくりを推進します。
- 原野谷学園小中一貫校整備事業…………… 1億6,586万円
- 城東学園小中一貫校整備事業…………… 9,000万円
- 同報無線整備事業…………… 3億8,425万円



5 人的資本経営と財政構造改革の推進



- **新タレントマネジメントシステム導入事業1,238万円**
経営戦略に基づく人材育成と、適時・適所・適材の人材配置を実現します。
- **新上下水道経営審議会運営事業…………… 54万円**
持続可能な上下水道の実現に向け、料金改定を含めた具体的な検討をスタートしていきます。
- **新アントレプレナーシップ[※]研修事業 …… 122万円**
※イノベーションを創出し、変化に対応する力
- **新グローバル人材就職支援事業…………… 70万円**

6 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

- **食料品等物価高騰対策商品券事業…………… 6億3,357万円**
食料品などの物価高騰に対する市民の経済的な負担を軽減するため、市内取扱店舗で使用可能な商品券（1人あたり5,000円）を給付します。
- **学校給食負担軽減対策事業…………… 6,313万円**
- **保育所等給食負担軽減事業費補助金…………… 4,295万円**
- **中小企業等省エネ設備導入事業費補助金 1,005万円**
- **省エネ家電購入費補助金…………… 3,338万円**

だれもが自分らしく暮らせる 「未来共創都市」 実現予算

令和8年度 予算

問 財政課 (☎21-1197)

令和8年度は、掛川市の新たな将来像の実現に向け、第3次掛川市総合計画が始動する重要な年度です。掛川市は、みなさまとともに、新たな一歩を踏み出します。

これまで進めてきた子育て支援や企業誘致などの施策が成果を上げ、市税収入も堅調に増加しています。一方、インフレに伴う物価・人件費の高騰や金利上昇による利払い負担の増加が財政運営に影響しています。さらに、新廃棄物処理施設や学校再編などの大型事業が控えており、今後は一層厳しい財政運営が見込まれます。

こうした状況を踏まえ、令和8年度予算では、データに基づく効果検証と事業立案を徹底し、「選択と集中」による予算としました。

予算規模

一般会計 548億9,000万円

(前年度比 △58億3,000万円)

特別会計 255億5,081万円 (前年度比 8億8,265万円)

企業会計 98億6,037万円 (前年度比 2,455万円)

【一般会計】行政運営の基本的な経費を網羅した会計

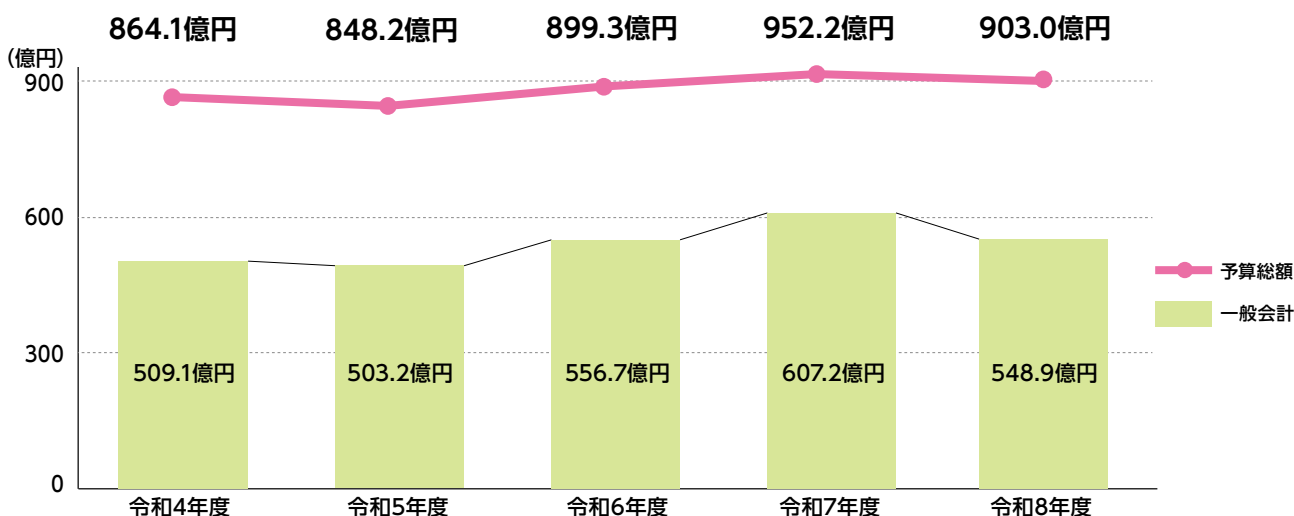
【特別会計】国民健康保険特別会計など、一般会計とは別に、独立した経費管理が行われる会計

【企業会計】水道事業会計など、地方公営企業法の適用を受け、市が運営する企業活動に係る会計

市の財政状況は、
ホームページからも
ご確認いただけます。



予算規模の推移



詳細はこちらから ▶

施政方針について



予算について

